

- 問1 フランスやドイツなどが中心となり、ヨーロッパの統合を目指して結成された地域連合を何という？
- 問2 ライン川沿いに位置し、かつて石炭や鉄鉱石の集積によって発展したドイツの工業地帯を何という？
- 問3 生乳を加工して作られ、長期間の保存が可能で輸出も盛んな食品を何という？
- 問4 ドイツが世界的に高い競争力を持ち、ルール工業地帯などでさかんな工業分野を何という？
- 問5 乾燥に強いオリーブやぶどうなどを育てる、地中海沿岸で盛んな農業を何という？
- 問6 冷涼で安定した気候を活かし、ヨーロッパ各地で盛んに行われている、牛などの家畜を飼育して乳製品を作る農業を何という？
- 問7 地中海が接している州は、ヨーロッパ州、アフリカ州とあと一つは何？
- 問8 乾燥に強い硬い葉を持つ木々が茂り、オリーブなどの果樹栽培が行われる気候に適した農業形態を何という？
- 問9 イギリスの冬の気温が緯度のわりには比較的高い理由となっている、一年中西から吹く風を何という？
- 問10 地中海沿岸に見られる、夏に乾燥し冬に雨が多く降る気候を何という？
- 問11 ドイツの山地に源を発し、東ヨーロッパの平原を流れて注ぐ国際河川の終着点はどこ？
- 問12 ドイツの北部の冷涼な気候を活かした、乳牛を飼育して牛乳やチーズなどの製品を生産する農業を何という？
- 問13 イタリアの首都で、古代から栄えた歴史的な都市を何という？
- 問14 ドナウ川の中流域に位置し、ハンガリーの首都として知られる美しい都市はどこ？
- 問15 スイスからドイツなどを経て北海へ流れる、ヨーロッパで最も重要な河川のひとつを何という？
- 問16 ロシアの北部に見られる、寒さが厳しく樹木がほとんど育たない土地を何という？
- 問17 北海の海底から採掘されている重要なエネルギー資源は何？
- 問18 ウクライナの広大な平原に広がる、肥沃で小麦などの栽培に適した土壌を何という？
- 問19 ヨーロッパ北西部で牧草の育成に適している、涼しく湿潤な気候を何という？
- 問20 農作物の栽培と何を組み合わせた農業形態を混合農業という？
- 問21 歴史的つながりのある旧植民地諸国によって結成された、イギリスを中心とする枠組みを何という？
- 問22 ロシアのシベリア地方で豊富に採掘され、パイプラインを通じてヨーロッパへ輸出されるエネルギー資源を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 欧州連合 (EU)	欧州連合 (EU) は、加盟国間で関税を撤廃し、通貨の統一 (ユーロ) を行うなどして経済的な一体化を推進しています。また、国境検査をなくして市民が自由に移動・労働できる仕組みも構築しました。ドイツやフランスが中心となって加盟国を増やし、現在では政治的な決定にも協力する枠組みとなっています。
問2	答え ルール工業地帯	ルール工業地帯は、豊富な石炭資源に恵まれていたことに加え、ライン川という水運を利用した原材料の輸送が極めて容易でした。このため、鉄鋼業を中心に大規模な工場が密集し、ドイツの経済復興を支える工業地帯となりました。
問3	答え 乳製品	乳製品とは、牛乳から作られるバターやチーズ、ヨーグルトなどの総称です。これらは加工することで保存性が高まり、遠方の国々へ輸出することが可能になりました。
問4	答え 自動車工業	その中でも自動車工業は、ドイツの輸出を支える最も重要な産業の一つです。優れた職人技術と高い研究開発力を背景に、世界的な自動車メーカーが多数存在しています。ミュンヘンなどの南部都市でも、高い技術力を活かした自動車や機械関連の産業が発達しており、ドイツの経済的地位を確固たるものにしていきます。
問5	答え 地中海式農業	この農業形態は「地中海式農業」と呼ばれます。夏の乾燥に耐えられる、オリーブ、ぶどう、コルクガシなどが中心です。これらは地中海の食生活には欠かせないオリーブオイルやワインの原料となります。限られた土地を効率よく使い、樹木を育てることで過酷な夏を乗り切るという、地域固有の知恵が詰まった農業といえます。
問6	答え 酪農	この環境を活かして、牧草を育て、牛を放牧して牛乳などを生産する酪農が非常に盛んです。特にデンマークやオランダなどは酪農製品の輸出が有名です。
問7	答え アジア州	地中海は、北のヨーロッパ州、南のアフリカ州、東のアジア州に囲まれた内海です。世界地図で見ると、非常に広い範囲にまたがっていることがわかります。この海は古くから文明の交流の拠点となり、フェニキア人やギリシャ人、ローマ人など様々な民族が海路を使って勢力を拡大してきました。それぞれの地域が海を通じて密接に関わり合っていたことが、ヨーロッパの歴史形成に大きな影響を与えています。
問8	答え 地中海式農業	この気候に適応した農業が地中海式農業です。夏には乾燥に強いオリーブやぶどう、柑橘類などを栽培します。また、冬の雨を利用して冬小麦を育てることもあります。
問9	答え 偏西風	この現象の主な要因は、北大西洋海流という暖流と、年間を通じて西から吹く偏西風です。この二つが海からの暖かい空気を運び込み、大陸西岸に海洋性気候をもたらしています。この気候は年間を通して気温の変化が少なく、降水量が安定していることが特徴です。
問10	答え 地中海性気候	この気候は「地中海性気候」と呼ばれます。最大の特徴は、温暖でありながら、夏には雨が非常に少なく乾燥し、逆に冬には比較的雨が降ることです。この乾燥した夏という環境に適応するため、現地では古くから乾燥に強い植物を育てる工夫がなされてきました。日照時間が長いので、夏は観光地としても非常に人気が高い気候帯です。
問11	答え 黒海	ドナウ川はドイツ南部の山地に源を発し、東へ向かって流れます。オーストリア、ハンガリー、ルーマニアなど多くの国々を通過しながら、最終的に東ヨーロッパの平原を経て黒海へ注ぎます。全長は約2,800kmに及び、沿岸には多くの美しい歴史的な都市が築かれました。
問12	答え 酪農	この気候条件を活かし、乳牛を飼育して牛乳、バター、チーズといった乳製品を生産する酪農が行われています。また、飼料作物を育てる耕種農業と組み合わせた「混合農業」が一般的です。効率的な土地利用により、ドイツは欧州有数の酪農大国となっています。
問13	答え ローマ	ローマは非常に長い歴史を持ち、市内にはコロッセオやフォロ・ロマーノなど、古代帝国の栄華を伝える遺跡が数多く残されています。現在もイタリアの政治・文化の中心地であり、キリスト教の総本山であるバチカン市国をその内部に抱えています。
問14	答え ブダペスト	ブダペストはハンガリーの首都であり、ドナウ川を挟んでブダ地区とペスト地区から構成されています。中世からの歴史的な建築物が多く残されており、特に国会議事堂などは美しい景観を見せています。ドナウ川の恵みを受け、古くから東欧の政治・経済・文化の中心地としての役割を担ってきました。
問15	答え 国際河川	国際河川は、複数の国を流れ、その利用について条約などでルールが決められている河川です。ライン川はその代表例であり、スイス、ドイツ、フランス、オランダなどを流れています。これらの国々で水運を共同利用することで、効率的な物流網が築かれています。
問16	答え ツンドラ	このような寒冷環境では地表の下が凍ったまま (永久凍土) であるため、背の高い樹木が根を張ることができず、コケや地衣類などの限られた植物しか生育しません。この厳しい気候帯をツンドラと呼びます。
問17	答え 石油	北海の海底には、石油や天然ガスが豊富に眠っていることが確認されました。特にイギリスやノルウェーなどの国々が、この海底油田から莫大な富を得ることで経済を急速に発展させました。過酷な気象条件の中での採掘技術は、世界屈指のレベルを誇ります。
問18	答え 黒土 (チェルノーゼム)	黒土 (チェルノーゼム) は、腐植分を多く含んだ非常に肥沃な土壌で、色が黒いのが特徴です。この土壌があるおかげで、ウクライナは「ヨーロッパのパンかご」と呼ばれるほど、小麦をはじめとする穀物の生産が非常に盛んです。気候条件も適しており、大規模な農業経営に適した環境が整っています。
問19	答え 西岸海洋性気候	西岸海洋性気候は、年間の降水量が比較的安定しており、乾燥しすぎないため牧草がよく育ちます。この環境は牛や羊の放牧や飼育に適しており、酪農や混合農業が発達する大きな要因となりました。
問20	答え 家畜の飼育	混合農業とは、小麦や大麦などの穀物栽培と、牛や豚などの家畜の飼育を一つの農家で並行して行う形態です。家畜の排泄物を肥料として畑に還元し、逆に畑でとれた飼料を家畜に与えるという、循環型の生産システムをとっています。
問21	答え イギリス連邦	イギリス連邦は、イギリスとそのかつての植民地が加盟する国際的な結びつきです。政治的な強制力は弱く、歴史や言語、法制度などの共通点を基盤として、経済・教育・文化面での協力関係を維持することを目的としています。現在は多くの独立国が参加しています。
問22	答え 天然ガス	採掘された天然ガスや石油は、巨大なパイプラインを通して隣接するヨーロッパ諸国へ大量に送られています。これはヨーロッパの暖房や産業のエネルギー供給を支える重要なパイプライン網となっています。